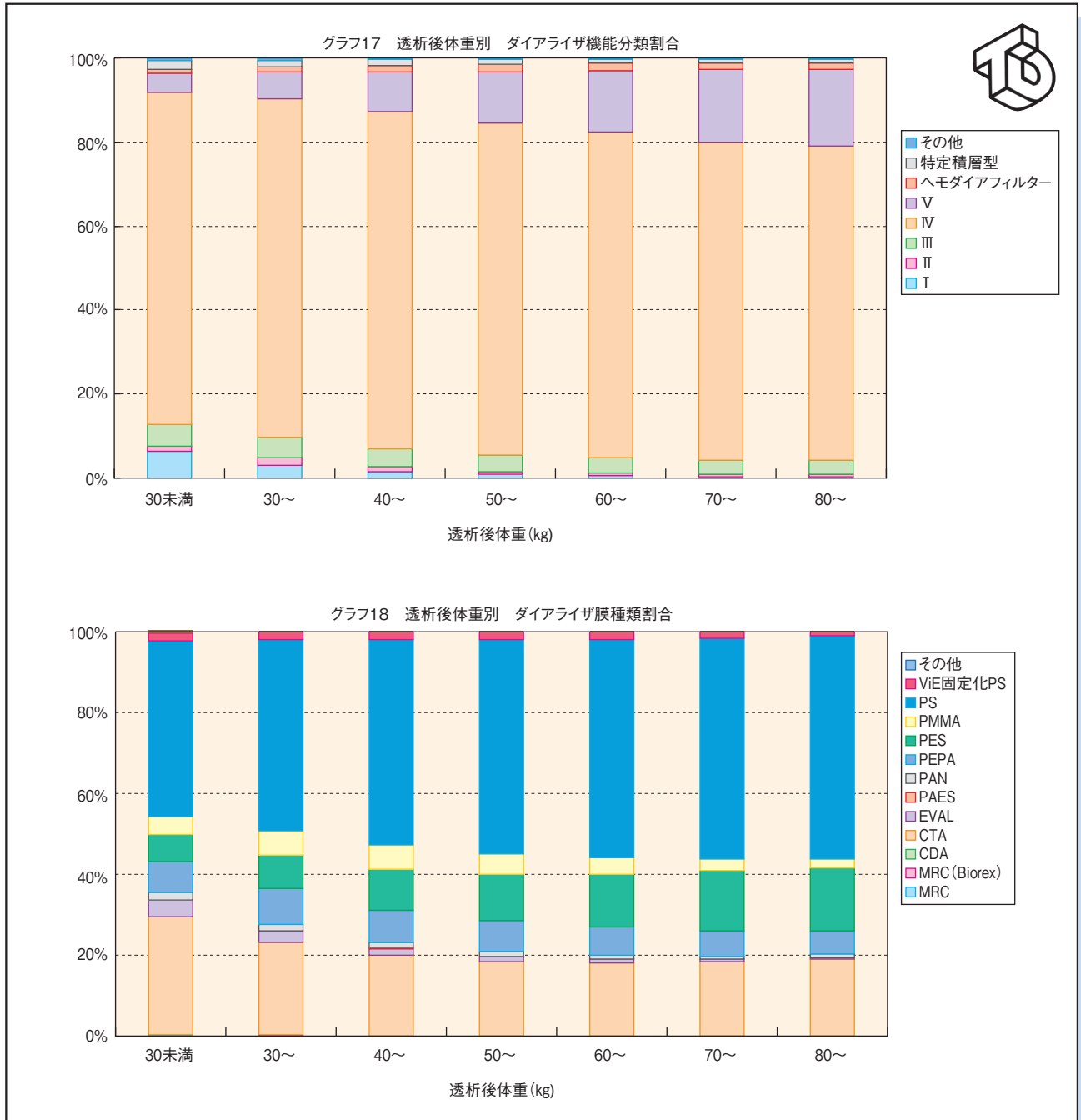


3) 患者背景による透析条件

(7) 患者透析後体重と透析条件2 (ダイアライザ機能分類と膜種類) (図表36)



患者調査による集計

グラフ17 集計対象：218,894人

グラフ18 集計対象：218,894人

解説

ダイアライザ機能分類別では、透析後体重の軽重によらず、IV型が75～80%を占め、最も多かった。透析後体重が重くなるほど、V型ダイアライザの使用割合が大きくなっていった。ダイアライザ膜種類別では、体重の軽重によらず、PS膜の使用割合が最も多かった。透析後体重が重くなるにつれて、CTA膜が減少し、PES膜の使用割合が多くなっていった。